

令和3年 9月 16日

(あて先) 千葉市議会議長

議席番号 16番 氏名 山田京子

質 問 主 意 書

千葉市議会会議規則第61条の2第2項の規定により、質問主意書を提出します。

【質問項目・内容】(3項目6問以内)

1. ICT環境下で育つ子どもたちの健康を守る対策について

(1) 教育委員会では、ICTを活用した教育の効果について、プラスの部分だけではなくマイナス部分にも十分着目して、健康を守る対策についても検討するべきと思うがどうか。

(2) 子どもたちの身体への悪影響を減らすため、GIGA タブレットの使い方についてのマニュアル、不使用時ルーター電源を切ること、ブルーライトカットシート、画面の角度を適切に保てるケース、学校内で電磁波被ばくから逃れられる部屋(シェルター)が必要と考える。どのように対策を考えているか。

(3) 子どもたちが長時間滞在する場所(学校、幼稚園・保育園、児童施設、公園等)の近くに携帯基地局が設置されないようにすべきであり、少なくとも設置しようとする場合のルール(住民や保護者への説明の義務化など)が必要と思うが、市としてどう考えているか。

(4) ICT環境下では特に心身の発達途上の胎児・乳幼児への影響も大いに懸念されるため、妊婦、乳幼児への注意喚起など対策が必要と思うが、どのように実施しているか。

2. ヤングケアラーの支援について

(1) 本市におけるヤングケアラーの支援についての課題と取り組みについて伺う。

【質問文】(900文字程度)

1. ICT環境下で育つ子どもたちの健康を守る対策について

コロナ禍で、全児童・生徒によるICT端末を活用した学習活動は必須となった。電波受信環境の整備も加速化し、家庭も含め社会全体として、電磁波被ばく機会は増え、電磁波過敏症で苦しむ人も後を絶たない。政府が示す電波防護指針は欧州各国と比べ緩く国内でも不安や批判の声が

聞かれる。本当に適正な基準なのかは、将来にならないとわからないが、それでは遅すぎる。少なくとも、予防的見地から子どもたちへの不要な電磁波の影響は避けるべきであり自治体として対策を立てるのが子どもの健康を守る大人の責務と考える。

教育委員会では、ICTを活用した教育の効果について、プラスの部分だけではなくマイナス部分にも十分着目して、健康を守る対策についても検討するべきと思うがどうか。

子どもたちの身体への悪影響を減らすため、GIGA タブレットの使い方についてのマニュアル、不使用時ルーター電源を切ること、ブルーライトカットシート、画面の角度を適切に保てるケース、学校内で電磁波被ばくから逃れられる部屋（シェルター）が必要と考える。どのように対策を考えているか。

子どもたちが長時間滞在する場所（学校、幼稚園・保育園、児童施設、公園等）の近くに携帯基地局が設置されないようにすべきであり、少なくとも設置しようとする場合のルール（住民や保護者への説明の義務化など）が必要と思うが、市としてどう考えているか。

ICT環境下では特に心身の発達途上の胎児・乳幼児への影響も大いに懸念されるため、妊婦、乳幼児への注意喚起など対策が必要と思うが、どのように実施しているか。

2. ヤングケアラーの支援について

ヤングケアラーについては近年頻繁に注目されるようになり、埼玉県では全国初のケアラー支援条例の制定、国では実態調査やプロジェクトチームの報告が発表され、2022年度に「ヤングケアラー支援体制強化事業」が予定されている。政令市ですでに6市が調査実施済または予定と聞く。

このように、ヤングケアラーの対策は「待ったなし」であり、実態調査、研修、相談支援、広報や啓発、アセスメントシートの活用が速やかに行なわれることを望むものである。

そこで本市におけるヤングケアラーの支援についての課題と取り組みについて伺う。